

厚木市総選挙費用 (全額が国から来ます)
6825万円8000円

ザ・選挙

選挙費用は? 一票は〇〇円?

支出項目	金額	主な内容
報酬	423万円	投票立会人・投票管理者
職員手当	2286万円	投票・開票事務応援のための職員手当
賃金	445万円	一般公募アルバイト70人 高校生アルバイト10人
報償費	45万円	謝礼
旅費	16万円	交通費
需用費	656万円	ポスター掲示板(323か所)
役務費	804万円	電話代・入場整理券の郵送料 (投票用紙は県から)
委託料	1990万円	掲示板の撤去・入場整理券の 発送準備(袋詰めなど)
使用料・賃借料	127万円	投票箱送致のタクシー代 連絡用携帯電話

(経費は概算です)

第47回衆議院総選挙が12月14日
投票日に行われました。
11月21日に衆議院が解散してか
ら投票日までが23日間しかありま
せんでした。近年では2000年
総選挙(6月2日解散・25日投票
日)と同じです。1983年総選
挙における20日間(11月28日解散・
12月18日投票日)に比べ短いもの
となりました。
解散から投票日までの期間が短
いことで、各党の政策の浸透にど
のような影響が出たのでしょうか。
また、投票率への影響はどうだっ
たのでしょうか。

今回の選挙費用について考えて
みましょう。
衆議院選挙は国政選挙ですから、
全額、国が負担します。12月議会
の初日(11月27日)には、11月21
日に国から来ていた選挙費用68
25万円を市長が専決処分したと
して、補正予算として出され、即
決しました。

その主な内訳は左の表のとおり
です。
一番多く使うのが人件費です。
投票立会人・管理者の報酬、従事
する職員の手当、選挙事務のアル
バイトへの賃金などで約3200
万円です。選挙に関心を持っても
らおうと高校生のアルバイトが10
人います。

入場整理券の発送事務経費などの
需用費・委託料で2646万円な
どがあります。
これを有権者数17万9903人
で割ると379円ですが、投票者
数94385人で割ると723円
になります。
ちなみに日本全体では下の表の
とおりです。2012年の総費用
を投票者数で割ると、一人当たり
1230円です。

各地で、投票の仕方や開票作業
でのミスが出たことが報道されて
います。
比例代表選挙では、政党名を書
くことになっていきます。候補者名
では無効ですが、ある自治体の投
票所では「政党名でも、候補者名
でもどちらでも良い」と指示し、
住民から指摘されて改
めたそうです。また、
投票用紙の束の数は5
00枚ずつなのに枚数
を間違えたところもあ
りました。

これらは選挙管理委
員会のミスですが、厚
木市では比例の開票立
会人の一人(M党)が
あまりに慎重に、じっ
くり見ていて開票終了
時間が大幅に伸びてし
まい、神奈川県内で最
後になったそうです。

全国の過去5回の衆院選の選挙経費と投票率

年	選挙経費	小選挙区投票率	
2000年	745億円	62.49%	
2003年	754億円	59.86%	
2005年	764億円	67.51%	
2009年	683億円	69.28%	
2012年	703億円	59.32%	57,158,119人 1230円
2014年	未定	52.66%	—



無事故で年末 笑顔で新年

「厚木市交通安全市民総ぐるみ大会」
12月13日(土)、厚木市文化会館で年末恒例
の「厚木市交通安全市民総ぐるみ大会」が開か
れました。交通事故犠牲者に黙とうのあと、交
通安全に努めた多くの個人・団体への表彰が行
われました。

今年、現在までの厚木署管内での交通事故件
数は1167件と前年より減少していますが、
死亡は市内で7名、管内では9名と多くなっ
ています。
10月末時点での厚木市内の交通事故死亡の発
生状況を見ると、自転車、高齢者が多く、今年
は小学生・中学生の事故もありました。半数は
右左折時の事故です。駐車中の車の自然発火に
よる事故もありました。大会の日の夜、市内の
小学生が交通事故で亡くなりました。

厚木市は数年前には1年に1件も死亡事故が
無かったことが続きましたが、最近は毎年発生
しています。残されたご家族の方々の苦しみを
思うと、心が痛みま
す。

死亡に至らなくて
も、事故による身体・
精神的な負担は大きく、
経済的な負担は大きく、
交通事故が無くなる
よう、一人ひとりが
交通安全に心がけ、
実践していかなくて
はならないことを肝
に命ずるものです。



交通監視所の準備をしています。